

新年あけましておめでとうございませす



明けましておめでとうございませす。町民の皆様は謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、東日本大震災及びこれに伴います福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の外部への放出事故等に見舞われました。

とりわけ未曾有の災害となったこの大震災では、役場本庁舎等の公有施設が被災、また、民家等におきましては屋根瓦の崩落、石堀等の倒壊等々により、不安の中でのご越年となったこととご推察申し上げます。

このような状況の中、今年はこの大震災からの復興を最優先施策として取り組んでまいります。特に行政機能の核となる本庁舎につきましては、「庁舎建設検討委員会」を組織しご審議いただいているところであり、早急な建設に向けて進めてまいります。また、これまで進めてきたまちづくりについても停滞することなく邁進してまいります。

さて、我が国は戦後の高度経済成長とその後の激しい経済不況を経て、社会・経済全般にわたる構造改革が進められ、その改革や変革の激しい潮流の渦中にあります。

本町においても、急速な少子高齢社会の到来や地球規模で進む環境問題、高度情報化の進展など、社会情勢の変化や住民ニーズの高度化・多



城里町長
阿久津 藤男

様化が求められており、行政サービスを自己決定・自己責任のもとに行い、さらなる行政改革を進め、安定した財政構造を確立していく考えであります。限られた財源の中で、町民の満足度を高めていくためには、行政と町民の皆さんが共に知恵を出し合い、柔軟な発想と大胆な実行のもとに地域力を高め、町民主体の社会を構築し、町の将来像である「人と自然が響きあい」とともに輝く住みよいまち」の実現を目指し、全力で取り組んでまいります。

町政を担当して4年目を迎えます。課題が山積しておりますが、町民の皆様とともに知恵を出し合いながら希望の光を見出すために全力を尽くす所存でありますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。結びになります。新しい年の初めに町民の皆様を心よりご健勝をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



城里町議会議長
小松崎 三夫

新年明けましておめでとうございませす。

皆様におかれましては、輝かしい新年を迎え、健やかにお過ごしのことと、心からお喜び申し上げます。年頭に当たり城里町議会議長として謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様方におかれましては、日頃より町議会に対する暖かいご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は低迷した経済情勢に欧州財政危機が加わり、世界は混沌とした一年となりました。

また国内では、昨年三月に、千年に一度と言われる東日本大震災に見舞われました。

この震災により福島原発事故が発生し、電力供給問題、エネルギー施策問題等へと日本全体に大きな影響を及ぼしました。城里町においても甚大な被害を受け、現在復旧・復興

に向けて、議会としましても鋭意取り組んでいるところであります。

また、「人と自然が響きあい」ともに輝く住みよいまち」を将来像としていきます「第一次城里町総合計画」の後期に入り、計画を具体化していかねければいけません。現在、本町は依然として厳しい財政状況でありますが、誰もが安心して暮らせる、活力に溢れた地域社会としていかなければならないと考えています。

また、地方分権の進展により、議会と議員が果たすべき役割、責務の重要性は益々増大してきています。議会の役割は予算などの議決のみではなく、行政の監視と合わせて、政策を提案しながら同時に町民の皆様の声を行政に反映させなければなりません。

町議会としましても、執行部と互いに切磋琢磨をしながら、皆さんが住んでよかつたと思えるまちづくりの実現に向け努力していく所存であります。

どうぞ町民の皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心よりお願いを申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご多幸とご健勝を心よりご祈念を申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。